

政策目標1 未来につなぐひとづくり/政策2 生涯にわたる学びと活躍の推進

政策分野5 生涯学習

目指す姿		
誰もが生涯にわたって学び、活躍でき、地域社会の中で輝いているまち		
施策		
施策番号	名称 施策の内容	関連するSDGs17のゴール
施策1	生涯学習活動の支援	
	知の循環型社会の構築を目指して、生涯にわたる学びを支援し、学びの成果を地域社会に還元できる人材の育成を推進します。	
施策2	読書活動の推進	
	図書館を拠点として、市民が求める資料の充実やサービスの提供に努め、生涯にわたり文化的・創造的な生活ができるよう読書活動を推進します。	
施策3	地域における社会教育の推進	
	各公民館を地域の学習・活動の拠点として、住民が主体的に地域課題に取り組んでいくための環境づくりなど、地域に根ざした社会教育の推進により、地域コミュニティの活性化を図ります。	

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況						
指標名					単位	説明又は計算式
1	公民館に参加している割合				%	公民館主催・共催講座の年間参加者／市の人口
	年度	R5	R6	R7	R8	検証
	目標	34.1	34.5	34.8	35.0	最終目標を上回って達成できている。引き続き、市民の学習ニーズに応じた講座の開設や周知に努めることで、今後も達成できる見込み。
	実績	33.1	38.0	-	-	
	達成率	97.1%	110.1%	-	-	
	図書館における市民100人あたりの貸出冊数				冊数	年間貸出総冊数／市の人口×100
2	年度	R5	R6	R7	R8	検証
	目標	451	454	457	460	貸出冊数は減少傾向にあり、価値観やライフスタイルの多様化、情報通信機器等の普及に伴う読書環境の変化を踏まえれば、最終目標には達成できない見込み。
	実績	389	371	-	-	
	達成率	86.3%	81.7%	-	-	

2 施策の評価

施策1	生涯学習活動の支援
主な取組状況と成果	【1】学習活動の支援・育成 ・高度化、多様化する市民の学習ニーズに応えるため、本市における目指すべき生涯学習のあり方を示した「会津若松市生涯学習推進ビジョン」を踏まえ、生涯学習活動の支援を行った。 また、高等教育機関や多様な機関・団体との連携による、生涯学習ネットワークを活用し、「プログラミング講座」や「会津大学との連携事業」、「みらい共創スターターズ」など多様な学習機会を提供した。 ・生涯学習総合センター窓口における学習相談や学習情報の提供を行うとともに、ソーシャルメディアを活用した積極的な情報発信により、市民の学習活動を支援した。 【2】地域コミュニティの活性化 ・地域活性化を図っていく上では、活動を主導する人材の育成が重要であるため、生涯学習支援者講座やコーディネーター研修会などを通じて、学びの成果を地域に還元できる人材の育成に繋げてきた。 【3】生涯学習総合センター管理運営 ・総合案内業務と図書館窓口業務の民間委託を導入し運営の効率化を図るとともに、利用者からの要望が多かった貸館業務の土日祝日受付を実施するなど、きめ細やかなサービス提供を行った。 ・市民からのニーズに対応し、和室座椅子の追加やトイレの洗浄便座化などの施設の充実を図り、利用者の利便性向上を図った。 ・照明のLED化を継続して行うことで電気料の経費圧縮に努め、脱炭素先行地域推進事業の取組を推進した。 ・施設の経年劣化が確認されることから部材等の計画的な更新を行い、維持管理経費の抑制と平準化を図った。
課題認識と今後の方針・改善点	【1】学習活動の支援・育成 ・高度化、多様化する市民の学習意欲に応じていくために、市民ニーズの的確な把握に努めながら、教育機関や外部団体と連携を強化し、幅広い学習内容と年齢層に対応した魅力ある講座を実施していく。 【2】地域コミュニティの活性化 ・人口減少や核家族化などの影響を受け、地域コミュニティの希薄化が懸念されている。地域の活性化を図っていくためには、地域住民が地域問題に主体的かつ連携・協力して取り組むことが必要であるため、講座の開催や生涯学習相談コーナーの設置などにより、学習情報の提供や学習機会の提供に努めていく。 【3】生涯学習総合センター管理運営 ・開館から10年以上が経過し、施設設備の経年劣化が目立つことから、利用者の安全安心な利用に支障がないよう計画的な更新が求められている。また、増加が見込まれる維持管理経費削減のため、より効率的な手法を検討する必要がある。 ・定期的な点検やメンテナンスにより適正な管理を行うとともに、公共施設等総合管理計画に基づいた改修等を行い施設設備の長寿命化を図る。

施策2	読書活動の推進
主な取組状況と成果	【1】図書資料等の充実 ・図書資料等の購入により乳幼児から高齢者までを対象とした図書資料等の整備を行い、市民の多様な要望に応えられるよう努めた。 ・平成29年度より雑誌スポンサー制度を導入し、令和7年5月末現在、6社12誌の提供を受けるなど、民間の協力により雑誌の充実を図った。 【2】図書館サービスの提供 ・ＩＣタグに対応した図書館システムを活用し、安定したサービスの提供が図られた。 ・図書館資料と会津若松市デジタルアーカイブを活用し、市民はもとより、県内外・国外からの多様な調査相談（レファレンス）に対応することができた。 ・郷土資料及び明治・大正・昭和の地元新聞のデジタルデータ、商用データベースなど多岐にわたる情報の提供を行い、利用者へのサービス向上を図った。 ・サビエ図書館や対面朗読などの障がい者等サービス等を導入し、障がい等により読書が困難な方の利便性向上を図った。 ・令和4年2月から、会津図書館所蔵の貴重資料を会津若松市デジタルアーカイブで公開し、継続してコンテンツの充実に取り組んだことで、市民や全国からの問い合わせの多い貴重資料等656点（令和7年5月現在）がインターネット上で利用可能となり、資料の情報発信の拡大と利便性の向上を図った。 【3】読書環境の整備・支援 ・「学校図書館ボランティア養成講座」を実施しボランティアの養成を図るとともに、学校図書館支援員等と協働で図書資料等の整備を行うことで学校図書館の活性化が図られた。 ・移動図書館（あいづね号）の日曜運行のほか、商業施設や福祉施設、小学校や会津支援学校・聴覚支援学校会津校等を巡回場所に加え、身近な場所での貸出環境を整備し、市民の利便性を図った。
課題認識と今後の方針・改善点	【1】図書資料等の充実 ・多様化する市民ニーズに応えるため、新刊図書や視聴覚資料の購入や新聞・雑誌、商用データベースの購読継続、さらに民間企業に対するスポンサー制度の広報を行い図書資料等の充実を図っていく。 【2】図書館サービスの提供 ・丁寧なレファレンス業務を継続し、市民の知識の探求の場としての役割を高めていく。 ・読書バリアフリー法に対応した図書資料や障がい者等サービスを提供し、誰もが等しく読書の機会を得ることができる環境の整備に努めていく。また、文字の拡大や音声読み上げ機能のある電子図書館の導入について引き続き研究していく必要がある。 ・市デジタルアーカイブのコンテンツを充実し、利用者の利便性を高めるとともに、学校の授業でも活用されるよう広報に努めていく。 ・広報紙やSNS等を活用した情報発信により、各種図書館サービスの利用促進を図っていく。 【3】読書環境の整備・支援 ・引き続き学校図書館支援員等と連携し、会津図書館奉仕員の巡回により学校図書館の蔵書管理や整理業務への支援を行うとともに、「学校図書館ボランティア養成講座」等の開催を通じた人材育成により、学校図書館の環境整備と活性化を図っていく。 ・移動図書館（あいづね号）の車両は規模が大きく、また、老朽化が進んでいることから、今後も安定した運行を継続するために車両や運行体制の見直しを検討する必要がある。

施策3	地域における社会教育の推進
主な取組状況と成果	【1】地域コミュニティの活性化 ・地区公民館では、地域の学習拠点として、地域住民が主体となり、地域コミュニティの醸成や活性化につながるよう地域活動の支援に努めており、住民同士の交流のための環境づくりを図るため、東公民館の「地域交流館～ひがしカフェ～」や、南公民館の「ふれあうよろずカフェ」、北公民館の「永和地区地域づくり協議会」、大戸公民館の「大戸まちづくり協議会連携事業」、河東公民館の「暮らしに役立つスマホ講座」、湊公民館の「よってカフェ」などの取組について、住民の参画を得ながら実施することができた。 【2】地区公民館の管理運営 ・地区公民館においては、利用者の利便性・快適性の向上に努めるとともに適切な施設管理を行ってきた。 ・令和6年度は、北公民館、南公民館、一箕公民館、湊公民館の照明器具LED化工事、大戸公民館、東公民館の自動ドア改修工事などを行い、安全・安心の観点からも利用者が利用しやすい施設の環境整備を行うことができた。
課題認識と今後の方針・改善点	【1】地域コミュニティの活性化 ・地域コミュニティを活性化させていくためには、地域住民が主体的かつ、連携・協働しながら、地域課題に取り組むことができる環境が必要であり、今後も、それぞれの地区公民館において、地域の実情に応じた環境づくりに努めていく。 ・地区公民館においては、地域住民との協働による地域コミュニティの拠点としての役割も求められており、各地域の実情に応じて、地域の活性化に取り組んでいく。 【2】地区公民館の管理運営 ・地区公民館の多くは、築30年以上が経過しており、経年劣化による施設の破損や設備の故障に対し、一時的な経費の負担増が見込まれる。公民館の適切な維持管理を行うため、耐震診断結果等を踏まえ、公共施設等総合管理計画に基づいた計画的な保全・整備を行う必要がある。

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名

4 第7次総合計画の期中総括

○主な成果

- ・地域の関係機関、大学などの高等教育機関、活動団体、企業などと連携した、生涯学習ネットワークを活用し、幅広い年齢層を対象とする講座を開催するなど、市民の多様な学びの機会を提供した。また、SNSなどのソーシャルメディアを活用した情報発信に努めながら、生涯学習に関する情報提供を行った。
- ・学習ニーズや幅広い年齢層に対応した図書資料の整備に努めたほか、雑誌スポンサー制度による民間企業と連携した雑誌の提供により、図書館資料の充実が図られた。
- ・サビエ図書館や対面朗読など読書が難しい方に対応した資料やサービスの導入、全国からの多様なレファレンス（調査相談）への対応や、会津若松市デジタルアーカイブの公開・拡充、商用データベースの導入等、様々な媒体を活用した図書館サービスの向上により、利便性向上が図られた。
- ・移動図書館の運行や学校図書館支援員との協働による学校図書館の整備支援などにより読書環境の向上が図られ、市民の読書活動の推進につながった。
- ・公民館講座等の、学びの機会の提供を通して、地域住民のつながりづくりや、生きがいづくりに取り組むことができた。また、地域住民による、まちづくり協議会を発足させるなど、地区公民館が地域の学習拠点として、地域住民が主体的に地域課題に取り組んでいくための環境づくりに取り組んだ。

○課題

- ・市民の学習ニーズを的確に捉え、多様な機関・団体と連携・協働し、地域の活力を活かした魅力ある講座や事業を開催する必要がある。
- ・個人の学習意欲や学習成果を「社会貢献」や「地域還元」につなげていく事業展開が必要であり、主体的に地域課題に取り組む人材の育成や、自主的な学習活動などを推進する体制づくりを進めるとともに、地域や家庭、学校と連携した事業の推進を図る。
- ・市民の多様化するニーズに応えるため計画的に図書資料や視聴覚資料を購入する必要がある。
- ・誰もが読書の機会を得ることができるよう、引き続き読書バリアフリー法に対応した図書資料の提供を行うとともに、文字拡大や音声読み上げ機能のある電子書籍の導入について、引き続き研究していく必要がある。
- ・市デジタルアーカイブはニーズの高い貴重な郷土資料等の情報発信や後世への継承が可能となることや、学校の授業等での活用も有効であることから、引き続き内容の拡充を図る必要がある。
- ・図書館における各種サービスについての利用拡大を図るため、適切な広報を行う必要がある。
- ・地域住民が公民館を拠点として学習や社会活動に参加できるよう、住民参加型事業などを展開するなど、地域に根ざした社会教育の推進により、地域コミュニティの活性化に取り組む必要がある。また、公共施設等総合管理計画を踏まえながら、利用者が安心安全に公民館を利用できるような適切な維持管理及び環境整備を行う必要がある。

5 最終評価

政策分野5「生涯学習」の推進にあたっては、地域の関係機関、大学などの高等教育機関、活動団体、企業等と連携した生涯学習ネットワークを活用し、引き続き、市民の学習ニーズを的確に捉え、地域の活力を活かした魅力ある講座や事業を開催していく。また、読書活動の推進については、移動図書館の運行や学校図書館支援員との協働による学校図書館の整備支援などにより、読書環境の向上を図っていく。

6 事務事業一覧

番号	ロジック モデル	主要 事業	人口減 少対策 ※	SDGs ターゲ ット	事務事業名	次年度 方針	担当部・課
施策1 生涯学習活動の支援							
1			基本目標4	4.1	生涯学習推進事業	継続	教育委員会・生涯学習総合センター
2				4.1	生涯学習総合センター管理運営費	継続	教育委員会・生涯学習総合センター
3			基本目標4	4.1	中央公民館神指分館事業	継続	教育委員会・生涯学習総合センター
4				4.1	中央公民館神指分館管理運営費	継続	教育委員会・生涯学習総合センター
5			基本目標4	4.1	子どもの森維持管理事業	継続	教育委員会・生涯学習総合センター
6				4.1	教育委員会表彰経費	継続	教育委員会・教育総務課
施策2 読書活動の推進							
1			基本目標3	4.1	生涯学習情報提供事業	継続	教育委員会・生涯学習総合センター
施策3 地域における社会教育の推進							
1			基本目標4	4.1	北公民館事業	継続	教育委員会・北公民館
2				4.1	北公民館管理運営事業	継続	教育委員会・北公民館
3			基本目標4	4.1	南公民館事業	継続	教育委員会・南公民館
4				4.1	南公民館管理運営事業	継続	教育委員会・南公民館
5			基本目標4	4.1	大戸公民館事業	継続	教育委員会・大戸公民館
6				4.1	大戸公民館管理運営事業	継続	教育委員会・大戸公民館
7			基本目標4	4.1	一箕公民館事業	継続	教育委員会・一箕公民館
8				4.1	一箕公民館管理運営事業	継続	教育委員会・一箕公民館
9			基本目標4	4.1	東公民館事業	継続	教育委員会・東公民館
10				4.1	東公民館管理運営事業	継続	教育委員会・東公民館
11			基本目標4	4.1	湊公民館事業	継続	教育委員会・湊公民館
12				4.1	湊公民館管理運営事業	継続	教育委員会・湊公民館
13			基本目標4	4.1	北会津公民館事業	継続	教育委員会・北会津公民館
14				4.1	北会津公民館管理運営事業	継続	教育委員会・北会津公民館
15			基本目標4	4.1	河東公民館事業	継続	教育委員会・河東公民館
16				4.1	河東公民館管理運営事業	継続	教育委員会・河東公民館
17				4.1	河東地域スポーツ事業負担金	継続	教育委員会・河東公民館

※人口減少対策に資する事業として、「第3期 会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に位置付けた取組を記載しています。

基本目標1 既存産業・資源を活用した魅力的なしごとづくり

基本目標2 地域の個性を活かした新たな人の流れの創出

基本目標3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり

基本目標4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 生涯学習活動の支援

1	事業名	生涯学習推進事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	本市の生涯学習の拠点として、様々な生涯学習の推進に関する事業を稽古堂市民講座として実施し、利用者のニーズに対応して学習の場と人材の育成、情報提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	3,925	3,925
			所要一般財源	3,925	3,925
概算人件費			60,326	60,326	
取組状況と 成果	「出前講座」や「地域教育コーディネーター派遣事業」により、地域教育力の向上や地域コミュニティ活性化を図るとともに、生涯学習総合センターの窓口で学習相談に応じるなど、学習者への支援を継続してきた。また、高校、大学といった教育機関や企業、地域団体などと連携し、それぞれの強みを活かした講座・事業を実施することにより、市民の多様な学習ニーズに応えてきた。さらに、「生涯学習講座」などを通して、地域活動や学習活動に主体的に取り組む人材育成に努めてきた。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	少子高齢化の進行や、個人の生活環境や価値観が多様化している中で、市民が主体的に学習していくことができるよう、学習者のニーズに応じた学習機会の提供をどのように行うことができるかが課題となっている。また、地域コミュニティの希薄化が大きな課題となっており、学習活動を通じた世代間の交流や地域の活性化に向け、これまで以上に地域社会との連携・協働が必要となっている。				
2	事業名	生涯学習総合センター管理運営費		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	公民館と図書館、多目的ホール・市民ギャラリーを備えた複合施設の機能を活かし、利用者の意見や要望を踏まえ、より利用しやすい環境を整えるため適切な管理運営に努めていく。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	216,133	198,771
			所要一般財源	167,047	174,771
概算人件費			29,655	29,655	
取組状況と 成果	・総合案内業務と図書館窓口業務を民間委託し運営の効率化を図り、利用者からの要望が多かった貸館業務の土日祝日の受付や、時代のニーズに応じた施設整備としてトイレの洗浄便座化等の利便性の向上に努めてきた。 ・脱炭素先行地域推進事業の取組として照明のLED化を継続してきた。 ・経年劣化による部材等の計画的な更新を行い、維持管理経費の抑制と平準化を図ってきた。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・開館から10年以上が経過し、施設設備の経年劣化が目立ち始め、利用者の安全安心な利用と災害時の対応に支障がないよう計画的な更新が求められている。また、増加する見込みの維持管理等の経費削減のためより効率的な手法を検討する必要がある。 ・定期的な点検やメンテナンスにより適正な管理を行うとともに、公共施設等総合管理計画に基づき、優先順位を付け必要な改修等を行い施設設備の長寿命化を図る。				
3	事業名	中央公民館神指分館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	202	202
			所要一般財源	202	202
概算人件費			3,530	3,530	
取組状況と 成果	・地元住民や各種講座参加者の声を大切にしながら、申込者の抽選を行うなど多くの参加希望者を得て、事業を計画・展開している。 ・地域の自主性を育み、住民相互の交流を図るため、地域の実行委員会と共催で、住民参加と発表機会となる「神指地区文化祭」を開催した。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・地区外からの講座参加者も多いことから、神指地区住民の参加促進と交流を図り、地域の活性化につなげていく必要がある。 ・事業懇談会をはじめ、多方面からの意見を反映させ、神指地区ならではの特色を活かした魅力ある講座・メニューの実施に取り組んでいく。				

4	事業名	中央公民館神指分館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	中央公民館神指分館の施設管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	8,235	8,235
			所要一般財源	8,200	8,200
			概算人件費	7,777	7,777
取組状況と 成果	・これまで、安全安心に利活用できるよう施設整備をしてきた。 令和元年度 湯沸室改修工事 令和2年度 日本間カーテン取替、 令和4年度 照明器具LED化工事（日本間・会議室） 令和5年度 日本間壁紙修繕 令和7年度 日本間畳表替				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・施設改修等により、利用者に対し、利便性・快適性の提供に努めてきたが、什器類等をはじめ、全体的に老朽化が進んでいる。 ・不具合個所の早急な修理・修繕に努め、利用者が快適に利用できる施設の管理運営に努める。				
5	事業名	子どもの森維持管理事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	施設利用を通して、子どもたちに自然とふれあう機会を提供し、自然を大切にする気持ちや豊かな感受性を育む。そのため、管理人を配置し環境整備のための維持管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	2,487	3,379
			所要一般財源	2,487	3,379
			概算人件費	773	773
取組状況と 成果	・施設の環境整備のため、管理人を配置し、施設の維持管理を行った。 ・サポーター登録制度を設けボランティアで維持管理等の手助けを行っている。 ・主催事業として親子で楽しむ「親子でキャンプin子どもの森」を開催し、子育て応援と利用促進を図る目的として事業を実施することができた。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・近年はキャンプやバーベキュー等の利用により、大幅に利用件数が増加しており、炊事場等の施設の改修等、より安全で快適な場の提供に努める必要がある。 ・自然のふれあいの場として、利用者の満足度を高めていくとともに、青少年の自然体験事業などでの活用を進めるため、最近は減少傾向にある学校等の利用促進を図っていく。引き続き、各種講座も開催し、施設の周知及び利活用について取り組んでいく。				
6	事業名	教育委員会表彰経費		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・教育総務課		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	本市の教育の振興発展等に貢献した市民または団体を表彰する。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	496	496
			所要一般財源	496	496
			概算人件費	348	348
取組状況と 成果	毎年11月3日（文化の日）に、教育の振興・発展に貢献し、その功績が顕著である者を功労賞として、また全国レベルで教育学術、文化芸術、体育等に顕著な成績を修めたものを奨励賞として、教育委員会が表彰を行う。 平成30年度から、11月3日の表彰後に奨励賞の対象となった児童生徒に対し、3月表彰を行うこととした。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	運用方針で定める選考基準に基づき、教育委員会表彰式を実施する。潜在的な候補者が推薦されるよう周知に努めていく。				

施策2 読書活動の推進

1	事業名	生涯学習情報提供事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	市民の多様な学習ニーズに応えるため、図書や雑誌及び視聴覚資料の充実を図るとともに、会津図書館がもつ様々なサービスの広報に努める。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	41,940	42,496
			所要一般財源	40,184	40,058
			概算人件費	36,452	36,452
	取組状況と 成果	・市民の要望に応えながら、図書資料等の購入や乳幼児から高齢者までを対象とした図書の整備に努めてきた。 ・読書が困難な方にも図書館を利用いただけるよう障がい者等サービスを行い、利便性の向上を図った。 ・会津若松市デジタルアーカイブで、デジタル化・テキスト化した貴重資料をインターネット公開し、図書館サービスの充実を図った。			
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	・市民の多様な学習ニーズやリクエストに応えながら図書資料の充実に努めていく。 ・読書バリアフリー法に対応した図書資料やサービスの提供・広報を行うとともに、音声読み上げ等の機能がある電子図書の導入について研究する必要がある。 ・会津若松市デジタルアーカイブで公開するコンテンツ充実を図り、学校の授業等で活用されるよう広報に努めていく。 ・移動図書館の安定した運行継続のため、車両や運行体制を見直す必要がある。			

施策3 地域における社会教育の推進

1	事業名	北公民館事業		法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会・北公民館		次年度方針	継続	
	概要 (目的・内容)	市民に対する多様な学習活動の機会の提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)	
			事業費	687	687	
			所要一般財源	687	687	
概算人件費			9,655	9,655		
取組状況と 成果	・地域伝統の「ものづくり」や時代の変化に応じたニーズ等を反映した講座の開催など、地域に根ざした生涯学習活動を実施してきた。 ・「北地区文化祭」等の開催や公民館だよりの発行、地域の各種会議への参加による地域との情報共有とコミュニティの活性化に努めてきた。					
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・人口減少や少子高齢化が急速に進む中で、地区公民館が活動の拠点となり地域コミュニティの維持や発展のため地域と協働し、地域課題の解決を図ることが必要である。 ・引き続き、住民の学習ニーズの把握に努め、地域の特性を生かした魅力ある公民館事業を積極的に実施するとともに、各種団体や住民の参画による事業を推進していく。					
2	事業名	北公民館管理運営事業		法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会・北公民館		次年度方針	継続	
	概要 (目的・内容)	北公民館の管理運営等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)	
			事業費	19,328	21,364	
			所要一般財源	11,242	11,787	
			概算人件費	9,655	9,655	
	取組状況と 成果	令和3年度 電話設備改修工事 令和4年度 網戸設置工事、屋外掲示板等改修工事、 高圧受電設備改修工事、2階女子トイレ改修工事 令和5年度 耐震改修工事、ボイラーバーナ部改修工事 令和6年度 照明器具LED化工事（1階日本間、事務室） 令和7年度 照明器具LED化工事（施設の残り全て）				
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	・昭和55年開館から46年目を迎え、施設・設備の経年劣化が進んでいる。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公民館が連携し作成した年次計画に基づき空調設備入替工事等の施設整備を進めていく。				
	3	事業名	南公民館事業		法定／自主	自主
		担当部・課	教育委員会・南公民館		次年度方針	継続
概要 (目的・内容)		市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)	
			事業費	366	378	
			所要一般財源	366	378	
			概算人件費	11,586	11,586	
取組状況と 成果		・門田地区の特色を活かしながら、会津伝統野菜について学ぶ講座や子どもたちにもものづくりの楽しさを伝える講座など多様な学習機会の提供に努めてきた。 ・地域住民同士の交流を深める「ふれあうよろずカフェ」などの講座を開催するとともに、地区文化祭の運営協力などをとおして、地域活動への支援を図っている。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・引き続き住民の学習ニーズを把握しながら、少子高齢化など地域課題を踏まえた事業を実施し、個々の生きがいづくりや地域の活性化につなげる。					

4	事業名	南公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・南公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	南公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	45,117	29,145
			所要一般財源	11,681	17,809
			概算人件費	4,982	4,982
取組状況と 成果	令和3年度 1階屋上防水改修工事、1階男子トイレ改修工事 令和4年度 キュービクルフェンス改修工事、合併処理浄化槽水中フロア改修工事 令和5年度 非常放送設備改修工事、浄化槽第一ばっ気槽改修工事 令和6年度 照明器具LED化工事(施設の一部)、1階廊下床下点検口改修工事 令和7年度 駐車場整備工事(舗装工事)				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・昭和56年4月の開館から40年以上経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいる。 ・多くの方々の利用に供するため、日ごろより職員による目視を含めた点検を行いながら施設利用に支障が出ないよう必要な改修を行い、利用者が活動しやすい環境を整備する。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公民館が連携し作成した年次計画に基づき、照明器具LED化工事、トイレの洋式化工事等の施設整備を進めていく。				
5	事業名	大戸公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・大戸公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び 自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を 図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	334	334
			所要一般財源	334	334
			概算人件費	7,724	7,724
取組状況と 成果	・世代を越えた地域住民の学習や活動の拠点となる施設運営に努め、生涯学習の推進を図った。 ・地域課題解決のために設立されたNPO法人大戸まちづくり協議会と連携し、住民参画事業を実施した。 ・NPO法人大戸まちづくり協議会等の活動拠点として地域住民が気軽に立ち寄れる「集いの場」を提供し地域コミュニティの活性化に努めた。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・人口減少、高齢化が進むなか、それに伴う様々な地域課題を解決するため、地域活動の拠点としての役割や機能の充実が公民館に望まれている。 ・NPO法人大戸まちづくり協議会等との連携、協力により地域特性を活かしながら、住民ニーズに寄り添った事業の実施と地域活動等の担い手の発掘や育成に取り組む。				
6	事業名	大戸公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・大戸公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	大戸公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	7,837	13,347
			所要一般財源	7,837	13,347
			概算人件費	9,345	9,345
取組状況と 成果	令和2年度 1階女子トイレ洋式化工事 令和3年度 1階男子トイレ洋式化工事 令和6年度 自動ドア改修工事				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・昭和60年の開館から40年が経過し、建物・設備の経年劣化が進んでいる中で、安全かつ利便性の高い施設環境を整える必要がある。 ・施設や設備の定期的な点検を行い、適切に修繕やメンテナンス等に努めることで、施設の長寿命化を図っていく。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公民館が連携し作成した年次計画に基づき、空調設備入替工事やクロス張替工事等の施設整備を進めていく。				

7	事業名	一箕公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・一箕公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び 自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を 図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	448	448
			所要一般財源	448	448
			概算人件費	4,867	4,867
取組状況と 成果	・時代の変化に応じた地域ニーズ等を踏まえ、青少年や成人を対象とした講座を継続して実施している。 ・四半期ごとに「いっき公民館だより」を発行し、地域への情報発信を行っている。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・公民館主体の事業だけでなく、地域運営組織「一箕地区ひとみ創造ネットワーク」と連携し、地域住民や事業者との協働による住民参画型事業を行い、地域コミュニティの活性化や地域課題の解決を図ることが必要である。 ・時代変化に合った事業の見直しを行い、魅力ある事業を開催するとともに、地域運営組織「一箕地区ひとみ創造ネットワーク」と連携し、地域の人材を生かした市民協働での住民参画型事業を推進していく。				
8	事業名	一箕公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・一箕公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	一箕公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	38,478	19,267
			所要一般財源	10,468	19,267
			概算人件費	4,867	4,867
取組状況と 成果	令和3年度 1階女子トイレ改修工事ほか 令和4年度 1階事務室・2階会議室冷暖房改修工事 令和5年度 1階男子トイレ改修工事 令和6年度 照明設備LED化工事 令和7年度 高圧受電設備改修工事				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・施設・設備等の経年劣化が進んでおり、利用者の利便性・快適性・安全性を考慮し、施設設備環境の整備を計画的に行う必要がある。 ・今後も適切な施設の管理と改善を行っていく。重点項目として、利用者が安全・快適に利用できるよう冷暖房や自動ドア、トイレの改修等、施設の整備を順次実施していく。				
9	事業名	東公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び 自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を 図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	540	540
			所要一般財源	540	540
			概算人件費	3,862	3,862
取組状況と 成果	・地域コミュニティづくりや地域の活性化に寄与するため、地域住民との協働による「ひがしカフェ」や「東山地区文化祭」を実施してきた。 ・郷土史教室、クラフト教室などの主催事業により、学習機会と生きがいづくりの提供に務めてきた。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・地域の高齢化が進むなかであって、生きがいづくりとなる事業を、地域との協働により継続していく必要があると認識している。 ・引き続き、地域の団体との協働により、事業を推進していく。 ・受講者のニーズにあった、魅力ある主催事業となるよう検討していく。				

10	事業名	東公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	東公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	20,679	15,189
			所要一般財源	9,539	14,939
概算人件費			2,897	2,897	
取組状況と 成果	・これまで、安全安心に利活用できる施設整備をしてきた。 令和元年度 1階女子トイレ洋式化工事 令和2年度 非常用放送設備アンプ交換工事 令和3年度 1階男子トイレ洋式化工事・受電設備改修工事 令和4年度 照明器具LED化工事(施設の一部) 令和6年度 正面入口自動ドア改修工事				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・昭和63年の開館から30年以上が経過したことによる施設・設備等の経年劣化が進んでいる。 ・利用者の高齢化と安全・安心を優先した施設整備の観点から、年次計画により、経年劣化部分の修繕、照明器具LED化工事、高圧受電設備改修工事、トイレの洋式化を進めていく。				
11	事業名	湊公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・湊公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	380	380
			所要一般財源	380	380
概算人件費			3,862	3,862	
取組状況と 成果	・サギソウ植栽講習会や湊みのりの大学など、世代の興味・関心、地域ニーズを反映した事業として、学習機会の提供に努めてきた。 ・月1回の広報紙発行による情報発信のほか、地区住民との連携を維持できるよう出張公民館による学びの機会の提供に努めている。 ・令和5年に立ち上げた「よってカフェ」は、湊町区長会・保健委員会・民生児童委員ほか地区住民との協働による住民の学びと交流の場となっている。				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・人口減少・高齢化の著しい地域状況の中で、公民館が核となって地域コミュニティを維持し、発展させていくことで課題の解決を図っていくことが求められる。 ・地域特性を生かした魅力ある事業構築に向け、参加者へのアンケート調査等を継続しつつ、地区課題の共有化を図りながら住民参画事業の拡大につなげ、事業の改善を図っていく。				
12	事業名	湊公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・湊公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	湊公民館の施設の維持管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	11,735	11,885
			所要一般財源	9,462	11,885
概算人件費			1,545	1,545	
取組状況と 成果	平成28年度 床暖房系統漏水修理・温水管修理 平成29年度 外灯修繕 平成30年度 北側屋根修繕(H25にも修繕の実績あり) 令和4年度 湊市民センター併設に伴う館内改修 令和5年度 屋根塗装等工事 令和6年度 照明器具LED化工事				
課題認識と 今後の方針 ・改善点	・開館後20年以上が経過し経年劣化に伴う損傷や故障も目立つ状況にある。 ・令和5年4月に湊地区が国の脱炭素先行地域に選定されたことを受け、事業期間内での施設設備の省エネ改修や再エネ導入に向けた検討を進め、令和7年度に待合室のエアコン改修と学習情報相談室にエアコンを設置する。 ・利用者の安全性・利便性及び快適性に配慮した施設環境整備に努めるため、令和8年度に自動ドア修繕工事を検討。				

13	事業名	北会津公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・北会津公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び 自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を 図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	335	335
			所要一般財源	335	335
			概算人件費	7,912	7,912
13	取組状況と 成果	・実生活に即した教養や学習を中心に、住民の相互交流を図る講座の継続、参加しやすく興味をひく内容への検討・見直しを行ってきた。 ・地域住民との交流、生涯学習の普及のため、「北会津文化祭」の開催や公民館だよりの発行、地域各種会議への参加による地域との情報共有に努めてきた。			
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	・急速な人口減少、少子高齢化が進み、市民の価値観が多様化するなか、市民ニーズに応えた企画立案、工夫による学習機会の提供や、地域コミュニティを維持、発展させていくことが必要であると認識している。 ・地域の方々の自由な居場所づくりに努めるとともに、地域の特性を活かしながら受講者が求める魅力ある事業展開に努める。			
14	事業名	北会津公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・北会津公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	北会津公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	13,990	13,530
			所要一般財源	13,990	13,530
			概算人件費	3,032	3,032
14	取組状況と 成果	・施設や設備面の老朽化が進む中、施設の維持管理に努めてきた。 ・令和3年度「公共施設再編プラン」により今後の公共施設の在り方が示された。 ・令和4年度に学校教育等に専門的な知識や経験を有する「公民館専門員」を配置し北会津中学校区地域学校協働本部事業や社会教育事業を推進した。 ・令和4年度 公民館の今後の在り方について庁内関係部署による協議を開始した。 ・令和5～6年度 公共施設再編に係る関係部署による会議を継続して開催した。			
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	・昭和46年の開館から50年以上経過する施設であり、施設、設備、器具等の老朽化により、今後も必要最小限の修繕を行う必要がある。 ・利用者の安全安心、利便性に配慮した施設の適正な維持管理に努めるとともに、耐震診断の結果や公共施設等総合管理計画、公共施設再編プラン等を踏まえ、社会教育及び地域活動の拠点となる施設整備に向け、様々な手法を検討する。			
15	事業名	河東公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・河東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び 自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を 図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	676	659
			所要一般財源	676	659
			概算人件費	9,310	9,310
15	取組状況と 成果	・親子体験教室などの少年教育、さらには健康や趣味の講座、郷土の文化や歴史を学ぶ講座、ICT講座（スマートフォン講座）などをはじめとする成人教育等の主催事業のほか、地域ニーズを反映しながら幅広い年齢層に対応できる事業に取り組んできた。 ・地域団体との連携により各種スポーツ大会や文化産業祭、町民運動会等を長年に渡って実施し、地域住民の生涯学習の普及および健康の増進、地域親睦を図ってきた。			
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	・市民のニーズや価値観は多様化しており、生涯学習を支援するためには、地域住民の学習ニーズを的確に捉えた上での講座の開催が必要である。 ・参加者アンケートや公民館事業懇談会からの意見を反映させながら、学習ニーズを捉えた講座等を開催していく。 - また、気軽に集い、学び、作る、知ることができる場が公民館であることから、学習情報収集や情報発信に努める。			

16	事業名	河東公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・河東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	河東公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	21,295	23,426
			所要一般財源	21,081	23,250
			概算人件費	24,465	24,465
	取組状況と 成果	- 施設や設備面の老朽化が進む中、施設の維持管理に取り組んできた。 - 令和3年度に学校教育等に専門的な知識や経験を有する「公民館専門員」を配置し、河東地区地域学校協働本部事業や社会教育事業を推進した。 - 令和3年度「公共施設再編プラン」により公共施設の在り方が示された。 - 令和4年度 公民館の今後の在り方について庁内関係部署による協議が開始された。 - 令和5年度 公民館利用登録団体と公民館の在り方に関するワークショップを開催。			
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	- 昭和51年の開館から長い年月が経過し、施設、設備等の老朽化が進む中、移転を考慮しながら安全性に配慮した必要最小限の修繕を行っていく必要がある。 - 利用者の高齢化が進む中、安全性や利便性に配慮した施設の維持管理を行いながら、耐震診断の結果や公共施設等総合管理計画、公共施設再編プラン等を踏まえ、地域の社会教育及び地域活動の拠点となる施設整備を検討する。			
17	事業名	河東地域スポーツ事業負担金		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会・河東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的・内容)	河東地区体育連盟と河東公民館の共催により町民運動会、町内一周駅伝競争及び各種競技種目10大会（合計12事業）の実施を通して地域住民の健康増進と地域コミュニティの醸成を図る。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	600	600
			所要一般財源	600	600
			概算人件費	1,952	1,952
	取組状況と 成果	河東地域においては、旧河東村の時代から公民館と協働で社会体育事業を展開し、地域住民の健康意識の高揚、地域コミュニティの維持・活性化など、地区体育連盟の果たす役割が重要視され、現在に至るまでまちづくりに大きな役割を果たしてきた。			
	課題認識と 今後の方針 ・改善点	- 体育連盟の自主財源の確保に努めるとともに、今後においても各種大会や地域イベント等の実施環境を維持するためには継続した財政支援が必要である。 - 本事業により、住民の健康増進や世代を超えた交流が図られ、地域活性や災害時の共助にも結び付いており、今後も体育連盟と公民館との協働により事業を継続していく必要がある。また、中学生の週末の部活動支援を地区体育連盟が担っており、継続して実施するための支援が必要である。			